

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

November

11

2018年
11月1日発行
No.461

今月の色：紅葉

特集 新厨房完成! 栄養課の新たな挑戦!

温かいものは温かく 冷たいものは冷たく
適温でおいしい **病院食** P-1

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 脳卒中センター P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 P-6



病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院

新厨房完成! 栄養課の新たな挑戦!

温かいものは 温かく
冷たいものは 冷たく

適温で おいしい 病院食

新厨房完成!



8月16日(木)、猛暑の中、新しい厨房が完成。今までの食事提供システムを変更し、より安全でおいしい病院食を目指し、新しい厨房、新しい調理方法での食事提供を開始しました。

より安全でおいしい 食事提供

従来の調理後に温冷蔵庫で保管した食事を時間に合わせて常温で提供するシステムから、調理後に急速冷却からチルド保存をして、提供前に「再加熱」を行うシステム



▲再加熱カート

に変更しました。現在は、朝食、昼食、夕食をこのシステムで提供しています。

1 より安全に

調理後に急速冷却することにより、食中毒菌の増殖を抑え、また、再加熱することで、安全かつ適温で提供しています。

2 おいしい食事

食器も再加熱調理専用の食器を使用し、「冷めて、おいしくない病院食」の概念を払拭し、「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適温でおいしい病院食」を目指しています。

3 献立が充実

調理師、栄養士が協力して検証、試作を行い、再加熱提供に適した新しい献立の作成、変更など、患者さんに喜ばれる食事提供への挑戦を続けています。お肉の苦手な方にもお召し上がりいただけるように、大豆ミートを使用した見た目も食感も肉のような「大豆ミートカレー」や、今まで再加熱に適さなかった揚げ物も提供しています。



▲大豆ミートカレー

管理栄養士による 栄養指導



▲栄養指導

入院および外来の患者さんを対象に管理栄養士による個別の栄養指導を行い、患者さんの気持ちに寄り添いながら改善方法をアドバイス

しています。また、「糖尿病教室」、「腎臓病いきいき教室」、「脳卒中再発予防教室」、「母親学級」で集団栄養指導を行っています。

入院患者さんには、管理栄養士が食事に関して問診し、食物アレルギーなどの対応も行っています。

これからも、食事を通じて患者さんの治療のサポートを行っていきます。



▲集団栄養指導

文責：栄養課 課長代行 鈴木 浩

インフォメーション

JCI、再認証を取得

当院では、患者安全の徹底、医療の質の向上を目指し、2012年11月より国際的な医療機能評価機関(JCI)を受審しています。この度3回目の更新審査を受け、再認証を取得しました。



Organization Accredited by Joint Commission International

院外処方せんに 検査値読み取り用のQRコードを導入

2018年
11月から

地域の保険薬局と連携し、患者さんにより安全で安心な医療の提供を目的として、検査値の読み取り用のQRコードを追加した院外処方せんの運用を開始します。

- 保険薬局にて、コードから読み取れる検査値に基づいて患者さんの状態を把握し処方監査を行うことで、お薬の投与量の適正化や副作用の早期発見につながります。

検査値の項目と導入時期

- ▶ 2018年11月から … クレアチニン、eGFRcre
- ▶ 2019年1月から … AST、ALT、ナトリウム、カリウム、無機リン、カルシウム、LDL、HDL、中性脂肪、好中球数、血小板数、PT-INR、HbA1c

「せぼねセンター」 【ヘルニコア】の治療を開始

2018年
8月から

せぼねセンターでは、「せぼねの病気」に対する治療を専門に行っています。

ヘルニコアの治療とは

ヘルニアを起こしている椎間板の髄核内に直接注射する治療法です。

- ▶ 本治療法は適応が限られています。
- ▶ 過去にヘルニコアによる治療を受けた方は、再度ヘルニコアによる治療を受けることはできません。

詳しくは、担当医までご相談ください。

新任
医師紹介

整形外科
よしみず たかき
吉水 隆貴

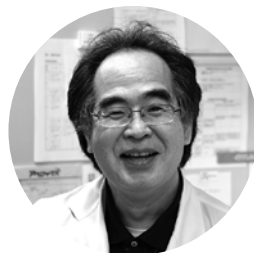


岐阜大学
(2012年卒)
※10月着任

リハビリテーション科
あいみ せいじろう
相井 誠次郎



東北大学
(1999年卒)



脳卒中センター

脳卒中はすぐ病院へ!

脳卒中には、血管が破れる「脳出血」と「くも膜下出血」、血管が詰まる「脳梗塞」があり、いずれもすぐ治療を開始する必要があります。脳梗塞では、血栓を溶かすt-PA治療や血栓回収療法が急性期に行われるようになっていますが、これらの治療は時間制限があり、時間に間に合わなければ治療はできません。一刻も早く診断して治療を開始するために、脳卒中センターは24時間体制で脳卒中診療に取り組んでいます。

意識状態が悪い、片側の手足の動きが悪い、ろれつが回らないなどの脳卒中を疑う症状がひとつでも出たら、すぐに病院を受診してください。安易に救急車を呼ぶことが社会問題になっていますが、脳卒中を疑った場合は、ためらわずに呼んでください。なぜ自分で来ないで救急車を呼んでほしいかといえば、病院に来るまでの間に急変することも十分考えられるからです。

毎年、「脳卒中市民公開セミナー」を開催しています。ぜひお越しください。

文責:脳卒中センター長 大橋 寿彦

正しく理解し
予防しよう 《第8回》脳卒中市民公開セミナー (参加無料
予約不要)

▶ 日 時 …… 2018年12月8日(土) 13:30~16:00

▶ 場 所 …… 大会議室(医局管理棟地下1階)

診療を支える
スペシャリスト

脳卒中 リハビリテーション看護 認定看護師

脳卒中再発予防指導を支援

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、発症した時点から退院後の生活を患者さんやご家族と一緒に考え、入院中の看護ケア、退院後の患者さんの生活に合わせた血圧自己測定方法や、塩分制限の食事などの生活指導を行っています。



脳卒中は再発すると後遺症が悪化して要介護状態となり、患者さんや介護者の生活の質を著しく損なう可能性があります。再発予防には高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病のコントロールが必要で、減塩を中心としたバランスのよい食事、ウォーキングなどの運動習慣、禁煙などの生活習慣の見直しが重要です。医師、看護師、リハビリ訓練士、管理栄養士、薬剤師がそれぞれの専門性を活かして再発予防指



▲カンファレンスの様子

導を行うほかに、脳卒中再発予防教室を2ヶ月毎に開催し、退院後の様子を伺い相談に応じています。

文責:看護部 鈴木 千佳代(写真左)、藤田 三貴(写真右)



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,400円(税込)を別途ご負担いただいています。

また予約時には、原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜9:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜) 14:00～20:00、(日曜・祝日) 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳/痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル 認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明